

四類感染症※

ダニ媒介感染症(ウイルス保有のマダニから)

ヒト-ヒト感染はほとんどない。

※感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律:感染症法に基づく

最近の事例

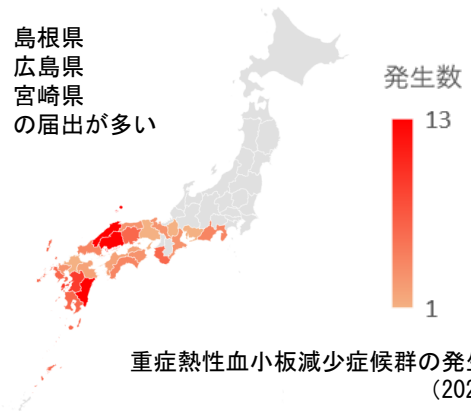
➤ 感染症法に基づく届出状況(人)

	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)
兵庫県	1	—	1<1>
全国	101	78	110

<>他県へ届出分別掲

感染症発生動向調査による

➤ 発生(届出)は、西日本に偏在している。

島根県
広島県
宮崎県
の届出が多い重症熱性血小板減少症候群の発生状況
(2021年)

疫学

- SFTSは2011年に中国の研究者らによって発表されたブニヤウイルス科フレボウイルス属に分類される新しいウイルスによる**ダニ媒介性感染症**である。
- SFTSウイルスに感染し、発症している動物の血液などの体液に直接触れた場合、SFTSウイルスに感染する可能性があります。

症状等

- 発熱、消化器症状(嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血)を主張とし、ときに、腹痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状などを伴う。
- 血液所見では、**血小板減少**(10万/mm³未満)、白血球減少(4000/mm³未満)、血清酵素(AST、ALT、LDH)の上昇が認められる。
- 致死率は10~30%程度である。

感染経路

- ブニヤウイルス科フレボウイルス属の重症熱性血小板減少症候群(Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome: SFTS)ウイルスが起病病原体とされ、野山などで同病原体を保有するマダニに刺咬されることにより感染します。

<フタトゲチマダニ>



<タカサゴキララマダニ>



厚生労働省ホームページより引用

診断方法

- 血液、血清、咽頭拭い液、尿から病原体や病原体遺伝子の検出、血清から抗体の検出で確定

治療方法

- **対症療法**のみ(特異的な治療薬等はありません)

医療機関
の皆様へ

- **重症熱性血小板減少症候群(SFTS)を疑う症状を呈する患者を診察した場合、最寄りの健康福祉所へ相談願います。**

裏面は、マダニ対策



マダニから身を守りましょう

国立感染症研究所ホームページより引用

(写真提供)
兵庫医科大学
皮膚科学
夏秋 優 教授

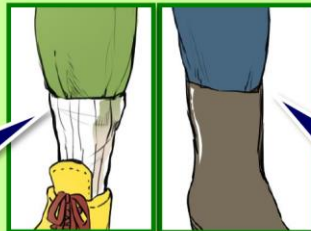
タカサゴキラマダニ フタトゲチマダニ

マダニとはどんなダニ？どこにいるの？

- マダニは成虫の体長が3～8mm(幼虫、若虫は1～3mm)の大型のダニです。
- シカやイノシシ、ノウサギ等の野生動物や人の皮膚に咬着して、血を吸います。
- 兵庫県ではタカサゴキラマダニ、フタトゲチマダニなど約10種類が生息しています。
- 主に、雑木林や草地に生息し、民家の裏山や庭、畑、あぜ道、市街地などにも見られます。
- ※マダニ類は、食品、衣類や寝具など家庭内に生息するダニとは全く種類が異なります。

マダニから身を守るには？

- 農作業や山仕事、庭仕事、レジャー等、野外で活動する際は、**肌の露出を避け**ましょう。
- **虫除けスプレー**(ディート、イカリジンなどの忌避剤)を噴霧しましょう。(特に足元は念入りに！)
- 野外活動後は、入浴や着替えをし、皮膚にマダニが咬着していないか、チェックしましょう。

首にはタオルを巻くか、
ハイネックのシャツを
着用しましょう。シャツの袖口は
軍手や手袋の中
に入れましょう。半ズボンやサンダル履き
は不適當です！シャツの裾はズボン
の中に入れましょう。ハイキングなどで山林に入る
場合は、ズボンの裾に靴下
を被せましょう。農作業や草刈などでは
ズボンの裾は長靴
の中に入れましょう。

マダニに咬まれたら？

- マダニ類の多くは、**長期間(10日間以上のこともある)皮膚に咬着して吸血**します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り、しこりになることがあるので、皮膚科等の**医療機関で適切な処置**を受けてください。
- **マダニに咬まれたら、2～3週間程度は体調の変化に注意**し、発熱等の症状が出た場合は、医療機関で診察を受けてください。その際はマダニに咬まれた、またはその疑いがあることを医師に伝えてください。(自分でマダニを取り除いた場合は取ったマダニを持参してください。)